声明書

日本大衆党の結成以来「合同第一」を標榜して一意党を守り來った我等はこゝに涙を振って党の攪乱者を断乎處分するに至った。「合同」の巨波が旧農民党並に旧無産大衆党の一握りの微勢力と漸次掃蕩せんとするの勢を示すや彼等ははかなき旧勢力の持續に狂奔し事毎に党内対立の形勢を剴致するに至ったからである。旧農民党系の脱退と云ひ旧無産大衆党系の蠢動と云ひ之ひ行くものゝ乱舞に過ぎない。日本大衆党の主張は微動だにせず去る者をして去らしめ蠢動するものをして蠢動せしめよ。勝利は大衆党の旗を守るものゝ上にあるであらう。我等は大衆の巨腕に依り荒狂る反動の嵐を衝いて唯一途無産階級解放の聖戦に猛進することを全党員並に全大衆に誓ふ。

昭和四年五月十六日

日本大衆党常任中央執行委員会

決議